

# 食の安全・安心に係る県民アンケート調査結果

和歌山県環境生活部県民局 食品・生活衛生課

## 1 調査の目的

「食」は生命の根源であり、人間の健康の維持に欠かすことのできないものです。しかし近年では、食に対する不安や不信が高まっています。このような中、県民の皆さまが、「食」についてどのような意識をお持ちなのかを把握し、今後の施策に反映させていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。なお、同様の調査は3年ごとに実施しています（今回は5回目）。

## 2 調査期間

平成28年2月1日～平成28年2月24日

## 3 調査項目の概要

- |                                |          |
|--------------------------------|----------|
| ( 1 ) 食品に対する不安の有無とその要因         | <問1~問2>  |
| ( 2 ) 食品購入の基準について              | <問3>     |
| ( 3 ) 食品表示について                 | <問4>     |
| ( 4 ) 肉の生食に対する考え方              | <問5>     |
| ( 5 ) いわゆる健康食品に対する考え方          | <問6>     |
| ( 6 ) 食の安全に関する知識について           | <問7>     |
| ( 7 ) 食の安全・安心に関する情報について        | <問8~9>   |
| ( 8 ) 「食の安全・安心わかやま」メールマガジンについて | <問10~11> |
| ( 9 ) 食品に関する認定・認証制度について        | <問12~13> |
| ( 10 ) 食の安全・安心確保のために重要な県の取組    | <問14>    |

## 4 調査の概要

### ( 1 ) 調査対象者・調査方法・回答者数

調査対象者：日常的に食品を購入されている県民の方

調査方法：①わかやま食の安全サポーター\*等を調査員として、居住地域や職場などにおいてアンケート用紙の配付・回収をお願いしました。

②インターネット上で、アンケートに答えていただきました。

③その他、消費生活サポーター、食品表示ウォッチャー、シンポジウム参加者等にアンケートへの回答を依頼しました。

回答者数：996名（①578名，②241名，③177名）

\*県民の食への関心を高め、食の安全や食生活の改善に関する知識等の普及を図り、消費者の自立を支援していただくために募集した方々。

### ( 2 ) 調査結果の見方

ア. 回答比率（％）は小数点以下第2位を四捨五入したため、個々の比率の合計は、100％にならないことがあります。

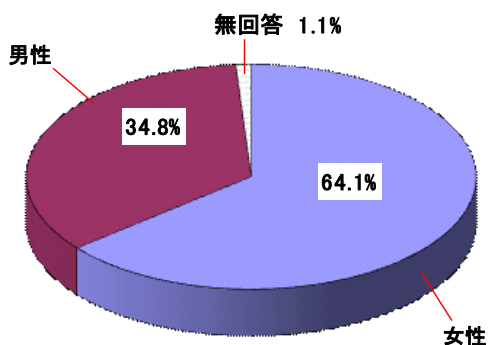
イ. グラフの中で「n」とあるのは、その質問の回答者の総数を示しています。

ウ. 複数回答の質問については、その回答比率の合計が100％を超える場合があります。

## ○調査対象者の概要 (n=996)

### A. 男女構成

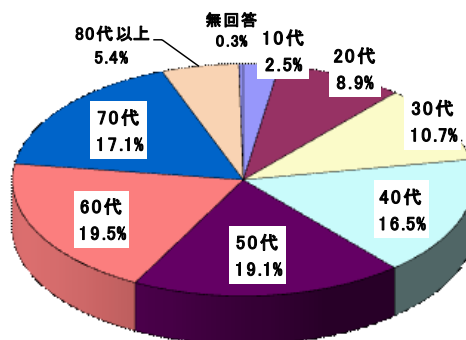
女性：64.1% (638人)  
 男性：34.8% (347人)  
 無回答：1.1% (11人)



### B. 年齢構成

10代\*：2.5% (25人) 20代：8.9% (89人)  
 30代：10.7% (107人) 40代：16.5% (164人)  
 50代：19.0% (190人) 60代：19.5% (194人)  
 70代：17.1% (170人)  
 80代以上：5.4% (54人)  
 無回答：0.3% (3人)

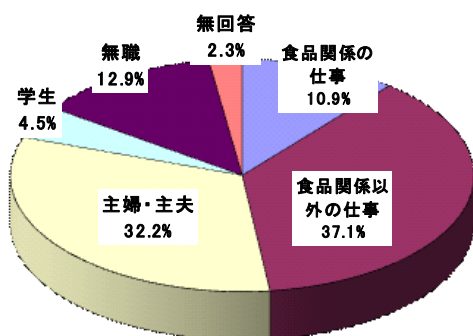
※10代は、15歳～19歳。



### C. 職業別構成

食品関係の仕事\*：10.9% (109人)  
 食品関係以外の仕事：37.1% (370人)  
 主婦・主夫：32.2% (321人)  
 学生：4.5% (45人)  
 無職：12.9% (128人)  
 無回答：2.3% (23人)

※農業、漁業、畜産業、  
 製造加工業、販売業、外食産業



### D. 地域別構成

和歌山市：38.9% (387人)  
 海草地区：5.2% (52人)  
 那賀地区：7.3% (73人)  
 伊都地区：11.3% (113人)  
 有田地区：7.2% (72人)  
 日高地区：9.2% (92人)  
 西牟婁地区：8.7% (87人)  
 東牟婁地区：11.7% (117人)  
 無回答：0.3% (3人)

